

課題番号：37

課題名		<p>廃炉プロセス「共通項目」</p> <p>検討対象「遠隔技術」</p> <p>※参考：重要研究開発課題「③画期的なアプローチによる放射線計測技術」との関連あり</p> <p>http://www.dd.ndf.go.jp/jp/decommissioning-research/dr-committee/materials/06/doc1-2.pdf</p>
ニーズ		<p>望ましい状態とその理由</p> <p>(参考) 関連する研究課題</p>
1	遠隔技術を開発したい	<p>●使用済燃料プールからの燃料取り出し、燃料デブリ取り出し、PCV/RPV/建屋の解体等の分野においては、人が立ち入れない、または長く作業できない高線量下における作業を伴う。作業員被ばくを防止する、もしくは低減させるため、ロボット等の遠隔操作技術・機器の開発が望まれる。</p> <p>●遠隔技術開発のみならず、除染、遮へい、作業時間等を踏まえた、被ばく低減方策としての組み合わせを考慮することが望まれる。</p> <p>●核燃料、放射性物質の核種や性状を遠隔またはその場で計測できることが望まれる。</p> <p>H28年度英知「ロボット制御技術を用いた廃棄物中放射性核種分析の自動前処理システムの開発」</p> <p>課題リスト1/12「レーザー超音波診断法（探傷技術）による金属亀裂、コンクリート健全性遠隔評価手法の開発」</p> <p>課題リスト1/12「検査・モニタリングを可能にする遠隔技術の開発」</p> <p>課題リスト11/12「ホットラボ用の遠隔操作による試験法及び遠隔操作機器の基盤技術開発」</p> <p>課題リスト2/12「補修を可能にする遠隔技術の開発」</p> <p>課題リスト3/12「シンチレータと光ファイバを用いた高放射線場の遠隔放射線計測」</p> <p>課題リスト4/12「シビアアクシデント後の遠隔計測技術」</p> <p>課題リスト4/12「ロボット技術」</p> <p>課題リスト4/12「内部観察・レーザーモニタリング技術の開発」</p> <p>課題リスト4/12「無人遠隔放射線分布測定システムの開発」</p>